みんなで
支え合う

難民・移民 なかまのいのち協働基金

昨年10月から「難民いのち基金」を立ち上げ、全国各地から寄せられた献金をもとに、今年1月から「子ども支援」がスタートしました。まずは第一期～第三期を実施し、81人の難民・移民の子どもたちに支援金を届けることができました。

「入管難民法」の改悪をはじめ、日本の法律や諸制度が、日本に暮らす難民・移民の人たちの生活を追い詰めてしまう現状を前に、わたし／わたしたちがいまできることは何かを考えながら活動を続けています。特に、難民申請中や在留資格を失った不安定な状況下で、衣食住などの生活者としての最低限の権利や、医療・教育・労働の権利も保障されない人たち、特にその子どもたちのいのちと生活をなんとか支えたい。ひとりでは難しくても、みんなで支え合うからこそできることがあるはずです。

この社会で隣人／なかまとして共に暮らす難民・移民の人たちのために、この社会をすべての人にとって生きやすい社会とするために、「難民いのち基金」の活動にぜひご賛同・ご協力をお願いいたします。

子ども支援金

▶難民申請者・仮放免者・未登録外国人の子どもたちを対象にし、
育児支援金／就学支援金として**「子ども一人につき３万円」**を支援します。
支援金は、各支援者・団体を通じて、子どもの親や養育者に届けます。
▶この他、支援団体と連携し、緊急的な支援や個別の相談支援も行います。

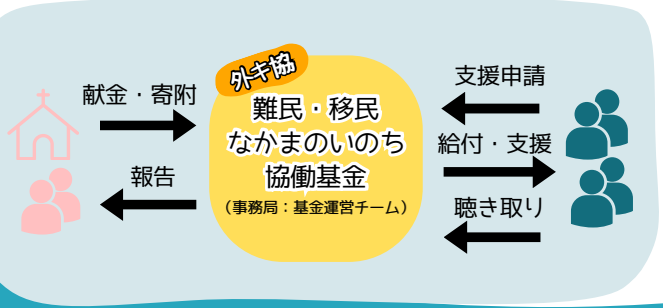
※献金・寄付くださった方には、ニュースレター『ここのかレター』をお送りします。
※日本に暮らす難民申請者・仮放免者・未登録外国人の現状や、基金の取り組み・活動の報告などを、教会や日本社会に伝えます。

献金・寄付はこちらへ

【ゆうちょ銀行】
記号・番号：00190-4-119379
口座名：外キ協
【その他の銀行】
銀行名：ゆうちょ銀行 〇一九店(ゼロイチキュウ店)
口座番号：0119379
口座種別：当座
口座名：ガイキキョウ

＊ 送金の際は、メールにてお名前、ご住所、お名前公表の可否、領収書の有無をお知らせください。nanminkikin@gmail.comまでお願いします。

▶難民いのち基金についてもっと知りたい方は、ぜひ外キ協HPをご覧ください！



目標金額
400万円
2025年9月まで

【主催・問い合わせ】 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館52号室　電話(03)3203-7575
<基金専用窓口> E-mail :nanminkikin@gmail.com 「基金運営」チーム

知ってください。子どもたちの現実を

▶7歳と8歳の子どもと母の3人暮らし。夫からの精神的DVを受けてうつ病が悪化した母が、子どもたちを連れて親族宅へ避難したところ、定住者の在留資格の更新を否定されてしまいました。児童手当や児童扶養手当なども受けられず、生活苦と退去強制への恐怖から、母のうつ病はさらに悪化。小学１年生と２年生の子どもたちが、涙が止まらない母を慰める日々です。
（在留特別許可申請中・南米）

▶きょうだい4人だけで来日し、兄姉が親代わりをしながら働いて下のきょうだいたちを養っています。姉（23歳）は工場勤務、兄（21歳）は現場の仕事をしていますが、正規雇用にはなれず、生活を維持することが困難です。私は4月から高校入学の予定ですが、使える支援制度を全て申し込んでも、制服やタブレットなど必須の学用品が支援費よりも高額になるため頭を抱えています。
（17歳・難民申請中・アフリカ）

▶中学3年生で高校進学予定です。父が本国で反政府勢力とみなされ殺害されたため、2023年に母と2人で来日しました。難民申請中ですがいまだ認定がされず、母は就労不可のため支援者からのサポートでなんとか暮らしています。高校入学のために、入学金やその他で26万円も必要ですが、カンパなどだけでは厳しい状況です。
（15歳・難民申請中・中近東）

▶仮放免中の母と子どもで、シェルターで暮らしています。母は持病のため高額治療を必要としていますが、収入がなく食料品や日用品などの日々の暮らしに必要なお金にも困っています。保育園も利用できず、母親は出かけたり同胞と交流したりする余裕もないので、孤独感が強いです。
（2歳・難民申請中・無国籍）

▶小学生の頃、きょうだい3人とともに両親に連れられて来日しました。本国では父親に政治的理由で逮捕状が出ているため帰国できません。私は必死に日本語を勉強し、小中高と学び、奨学金を得て専門学校に通いましたが、家族全員が仮放免中で就職活動ができません。難民不認定の異議申し立て裁判により、在留特別許可がでる可能性を待つ間、大学への編入を決意し見事合格しました。しかし、編入後は奨学金が継続されず、学びを続けるための学費が必要です。
（20歳・仮放免中・中近東）

▶両親と姉妹の4人家族全員が仮放免状態。姉と妹が専門学校への進学を予定していますが、入学にかかる費用や2年間の学費の目処が立たないままです。両親は就労ができないため、経済的に困難な状況が続いています。専門学校で学びを続けるために、学費が必要です。
（18歳と20歳・難民申請中・中近東）

第一期～第三期の子ども支援の中で、難民・移民の子どもたちとその家族が置かれている状況について寄せられた声を、個人が特定されない形でご紹介します。ぜひ聞いてください、知ってください。そして、一人でも多くの人に知らせてください。こんな思いをして生きている子どもたちやその家族たちがいること、そして、この状況を作り出しているのはわたしたちと日本社会であるということ。

ぜひ、難民いのち基金にご支援・ご協力をお願いします。過酷な状況で生活せざるを得ない子どもたちに、一人3万円の支援金を届けます。「決してあなたを忘れない」この想いとともに。

毎月ここのか(9日)は、難民・移民を覚えてあつまろう、祈ろう、学ぼう

●ここのか祈祷会（5月、6月、8月）夜７時～７時半

難民・移民のなかまたちを覚えて、オンラインで集まり、祈り、語り合います。
申し込み不要！右記のIDとパスワードまたはQRコードで、
直接Zoomミーティングでご参加ください。

ID: 815 7644 8847
パスコード: 798850

●オンライン入門講座（4月、7月）

難民・移民の人たちと伴走しながら、その生活を支えている支援団体の実務者を講師に招き、支援の現場や支援制度、必要なノウハウなどについて学びます。後日の動画視聴も可能です。詳細は外キ協ホームページ（https://gaikikyo.jp/）をご覧ください。

難民いのち基金は、延べ 356 人の個人と 224 の教会･修道会･団体に ご賛同･ご協力をいただいています。